長期優良住宅の長期使用構造等の基準(新築基準)の概要

<table>
<tr><th rowspan="2">性能項目</th><th colspan="2">求められる主な性能内容</th><th rowspan="2">（参考）評価方法基準第５
の該当項目</th></tr>
<tr><th>戸建住宅の場合</th><th>共同住宅等の場合</th></tr>
<tr><td>構造躯体等の劣化対策</td><td colspan="2">等級 3 ＋ 次の基準
木 造：小屋裏・床下の点検口、
床下有効高さ330mm
鉄骨造：防錆措置など
ＲＣ造：水セメント比、最少かぶり厚さ</td><td>3 劣化の軽減に関すること
3-1(3) 劣化対策等級</td></tr>
<tr><td>耐震性</td><td colspan="2">保有水平耐力計算等の等級２又は等級３、限界耐力計算、又は免震</td><td>1 構造の安定に関すること
1-1(3)耐震等級（構造躯体の倒壊等防止）など</td></tr>
<tr><td>可変性</td><td>－</td><td>躯体天井高さ
2,650mm以上</td><td>4 維持管理・更新への配慮に関すること
4-4(3)更新対策（住戸専用部）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">維持管理・更新の容易性</td><td colspan="2">等級 3
（ガス管除く）</td><td>4 維持管理・更新への配慮に関すること
4-1(3) 維持管理対策等級（専用配管）</td></tr>
<tr><td>－</td><td>等級 3
（ガス管除く）</td><td>4-2(3)維持管理対策等級（共用配管）</td></tr>
<tr><td>－</td><td>等級 3</td><td>4-3(3)更新対策（共用排水管）</td></tr>
<tr><td>高齢者等対策</td><td>－</td><td>共用部分の等級 3
(一部の基準除く)</td><td>9 高齢者等への配慮に関すること
9-2(3)高齢者等配慮対策等級（共用部分）</td></tr>
<tr><td>省エネルギー対策</td><td colspan="2">断熱性能等級 4</td><td>5 温熱環境・エネルギー消費量に関すること
5-1(3)断熱等性能等級</td></tr>
</table>